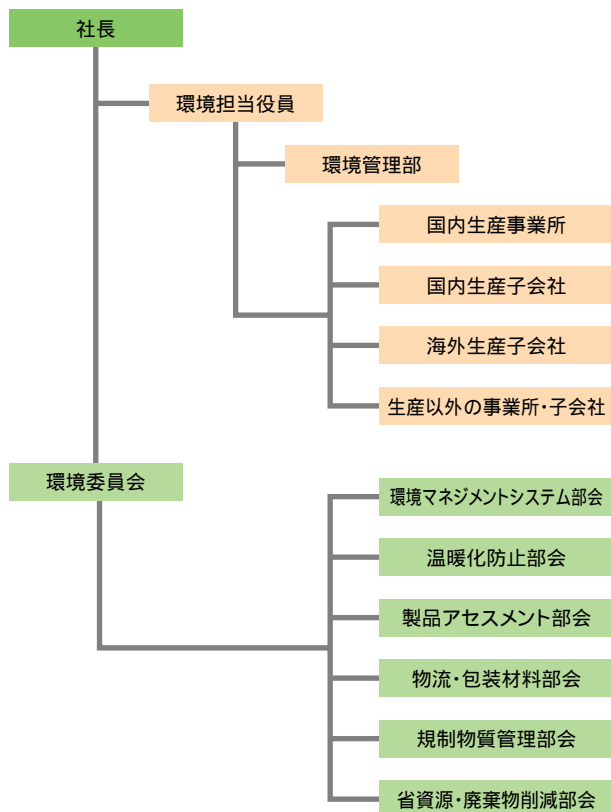


環境経営を効率的に行うためには、適切な推進体制とそれを実行するためのマネジメントシステムが重要です。推進体制に基づきISO14001認証取得の拡大、環境会計の活用、環境教育の推進などをより一層強化していきます。

環境経営推進体制

ムラタでは、グループ一体となって環境経営を推進していくため、全体の環境活動の統括責任者として環境担当役員を置き、環境管理部は国内外グループ会社の環境活動を推進する機能スタッフの役割を果たしています。また、社長への諮問機関として環境委員会を設置し、グループ全体の取り組みや、課題の検討審議を行っています。さらに環境委員会の下部組織に課題別の部会を配置し、それぞれが課題の抽出、具体的な対策の立案などを行っています。

環境経営推進体制



ISO14001 認証取得

ムラタでは、国内外すべての生産拠点において、ISO14001の認証を取得しています。2005年度は、村田製作所本社・東京支社・国内営業所において、ISO14001の認証を取得し、国内拠点におけるマネジメントシステムの構築を完了しました。

2006年度は、国内の事業所、子会社の環境マネジメントシステムを連携させ、ISO14001マルチサイト認証に切り替える予定です。

DATA ISO14001 認証取得

環境監査

環境マネジメントが適切になされているかをチェックするために、定期的に環境監査を行っています。生産事業所・生産子会社ごとに内部監査と外部審査を導入し、バランスのとれた効果的な環境マネジメントを図っています。

内部監査
<p><b>事業所自己完結型内部監査</b>                      日常の業務の中で管理基準を定め、運用の監視および不適合事項の発見とその是正を行います。さらに年に1回の監査を行い、各種ルールが確実に運用できているかを調べます。</p>
<p><b>環境管理部による機能スタッフ監査</b>                      外部審査機関による審査の補完および事業所内部監査では踏み込めない専門的な部分の監査を目的とし、定期的を実施しています。</p>
<p><b>監査役による監査</b>                      会社の環境マネジメントシステム構築およびその運用が的確か、全体的整合性をもって遂行されているかどうかを監査役の立場から調査検証し、必要に応じて意見を述べます。</p>

## 環境教育

環境に配慮した事業活動を支えていくには、従業員一人ひとりの環境意識の向上が不可欠です。経営トップの示す環境ビジョン・方針や各部署の取り組みを従業員全員が理解できるよう、ムラタではさまざまな環境教育の機会を設けています。

研修では、新入社員・一般社員・管理職に向けた階層ごとの環境教育に加え、内部監査員を養成するための講座や、環境負荷の高い業務の従事者に対する個別教育などを開催しています。

DATA 環境教育訓練、環境関連の有資格者数



内部環境監査員養成セミナー  
(福井村田製作所)

## 環境啓発

従業員の環境に対する意識を高めるため、社内報「Journal Murata」において、毎年環境特集を企画し、全社取り組みテーマの進捗状況や対策事例の紹介などを行っています。

また、社内表彰制度の中に「地球環境保護推進賞」を設け、環境保全に顕著な貢献をした従業員に対する業績表彰も行っています。

### 地球環境保護推進賞 受賞内容

年度	内容
2003年度	鉛フリー化に対応するための電解錫めっき浴の開発
2004年度	国内事業所および子会社でのゼロエミッション達成
2005年度	野洲事業所における廃液削減

## 環境コストマネジメント

事業活動における環境保全のためのコストと、その活動により得られた効果を把握分析することにより、効率的な環境経営を進めています。ムラタでは、2003年に独自の環境コストマネジメント制度を構築し、国内事業所および子会社に導入しました。

この制度は、ISO14001におけるプログラムごとにコストと効果を把握し、これを計画の進捗確認と是正、マネジメントレビューに利用するというものです。効率的で効果的な施策や業務の水平展開、効率性を考慮した環境目的・目標の作成や見直しに活用しています。

2006年度は、海外子会社に環境コストマネジメント制度を導入する準備を進め、2007年度から運用を開始する予定です。

DATA 環境コストマネジメント

### 環境コストマネジメント制度

